



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2017~2018 年度主題

<No.278 会津通信>  
2018 年 6 月 13 日発行

国際会長	「国境なき友情」
アジア地域会長	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「明日のために、いま土台を築こう」
会津クラブ会長 青山孝男	「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇6月の聖句◇

「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられる

マタイ福音書 5 章 13

6 月例会プログラム

日時:2018 年 6 月 13 日 (水)19:00~

会場: 日本キリスト教団 若松栄町教会  
司会:高橋真人さん

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| 1.開会点鐘                                | 会長 青山孝男     |
| 2.ワイズソング                              | 一 同         |
| 3.会長あいさつ                              | 会長 青山孝男     |
| 4.連絡・報告                               |             |
| 5.聖句朗読                                |             |
| 6.食前感謝                                |             |
| 7.懇 談                                 | 評価(今年の振り返り) |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! |             |
| 9.閉会点鐘                                | 会長 青山孝男     |

<5 月例会出席状況>

在籍者 5 名 ゲスト 1 名

出席者 3 名

\*例会出席率 60%

あかべこ

17-18 年度合計 20,000 円

今年を振り返って

会長 青山孝男

「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」の主題で活動をしてきましたが、予定の事業は熟せたもの不安が残った一年でした。

一番はメンバーの健康でした。年々例会への出席率が減る中、例会日と場所を工夫と変更で保って来ました。今年で25年目を迎え、20周年の祝いを北東部のメンバーに支援してもらったのが、ついこの間のように感じます。あと5年は頑張れるかなあと思いつつ継続できたことに感謝です。東日本区大会や北東部会に参加することにより、刺激を受けたり元気をもらったりしています。今年で6年目となる「ユニークダンスつばさ」のメンバーも同様です。車椅子での外出が夜間の会合がきつくなったとの声を聞きました。

年齢も上がる中、若いメンバーの獲得に特効薬はありません。こちらでも活動の工夫が必要に迫られています。

今も「少年の主張大会」や「ユネスコ幼児画展」の後援に声をかけて頂いています。来期も継続に全力投球しかありません。



東日本区大会の1コマ

☆ 強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う。 ☆

## 5月例会より

### 鈴木伊知郎北東部長を迎えての例会



部長主題は“距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう”

- (1) YMCA を支えよう
  - (2) 各クラブ個性を磨こう
- 各クラブは独立した存在で

す。それぞれのクラブが地域やYMCAを支えるボランティア活動を行っています。それは地域やメンバーの特色を活かした活動になっています。北東部の各クラブはとも個性の強いクラブが集まっていると思います。各クラブの個性をプラスと考え、ユニークなクラブ活動を今後も推進して、クラブの活性化に繋がればと、昨年7月より東日本区役員会、北東部評議会等を熟しながらの各クラブ訪問はようやく会津へ。

例会では次のようなことを話しました。私がワイズメンズクラブに入会したのが8年前で、2年目に会長に就きました。今、部長ですが次々年度も部長に就きます。2019年7月に仙台でアジア太平洋地域大会を開催するためです。大会のコンセプトは、震災後の復興と未来の展望を掲げて、みんなで大会を盛り上げようと各クラブにお願いをしています。私がクリスチャンになったのは17年前になります。今回はワイズメンズクラブとキリスト教のことを話したいと思います。(鈴木部長のキリスト教とのつながりを、約30分ほど話され終始和やかな例会になりました) 訪問ありがとうございました。



## 6月報告(東日本区報より抜粋)



多くの抱負と期待を込めてスタートした今期も後一ヶ月となり、いよいよ明日から第21回東日本区大会(沼津)が始まります。主題を「広げようワイズの仲間」として、EMCに全力投球をお願いした一年間でした。

様々な機会に会員増強のお願いをしてきましたが、残念ながら、大きな成果を上げることは出来ませんでした。然しながら、会員増強への思いは多くの皆様が強くされたことと思います。また、部エクステンション委員会は、全ての部でスタート致しました。今期中の新クラブ誕生には至りませんでした。2年目3年目には必ず新

クラブが誕生してくるものと期待しております。皆様の今後ますますのご活躍、ご健勝を祈念いたします。

## 会津の先人たち(会津若松市 HP より)

### 近代女性の先駆者

新島 八重 (にいじま やえ)  
(1845~1932)

### 新島襄(じょう)の妻として

明治8年に上洛した新島襄は、戊辰戦争後に京都府顧問として活躍していた八重の兄の山本覺馬(かくま)と同志となり、キリスト教的博愛主義による教育を目指した「同志社」を創立しました。このころ兄を頼って京都に出た八重は、ここで襄と知り合いました。八重は女紅場(じょこうば)(後の第一高等女学校)で英語を勉強したり、教師をしたりするかたわら聖書の研究も始め、これがきっかけで襄と急速に親しくなりました。

明治9年、二人は洗礼を受け、宣教師の立ち会いで結婚式を挙げました。当時、京都ではまだキリスト教徒に対する差別が根強く残っており、周囲の目は冷やかなものでした。そんな中で八重は、襄と同志として、また夫と立場が対等な妻として近代的な女性に変わっていきました。



### 襄の遺志を継いで

明治23年、各地への講演やキリスト教の伝導、同志社の運営のための寄付金集めなどに奔走して体を壊していた襄は、療養先の大磯で亡くなりました。八重は、同志社の生徒たちをわが子として見ていた襄の遺志を引き継ぎ、財産のすべてを寄付し同志社を守り続けました。

昭和7年、八重は86歳でその生涯の幕を閉じました。(次回は同志社大学の創設に協力 山本 覺馬)

### ◆ 今後の予定 ◆

- ◇7月例会7月10日
- ◇ユニークダンス  
7月25日 午後7時~  
場所:アガッセ